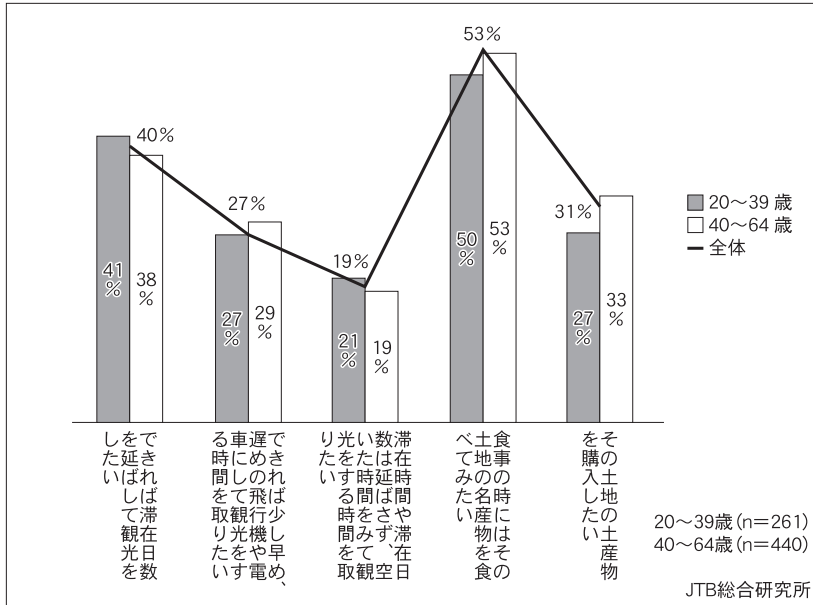


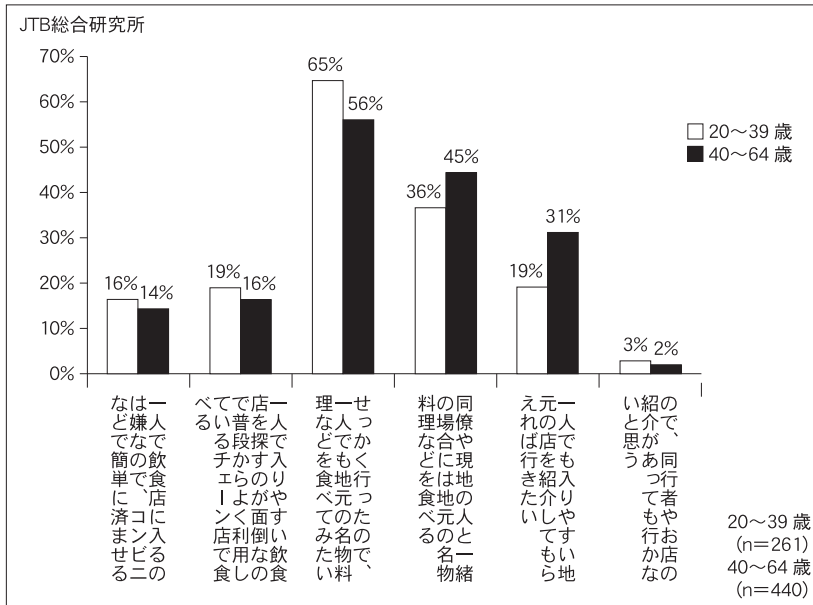
働く男性 旅の意識

出張先で地域の魅力を体感したい

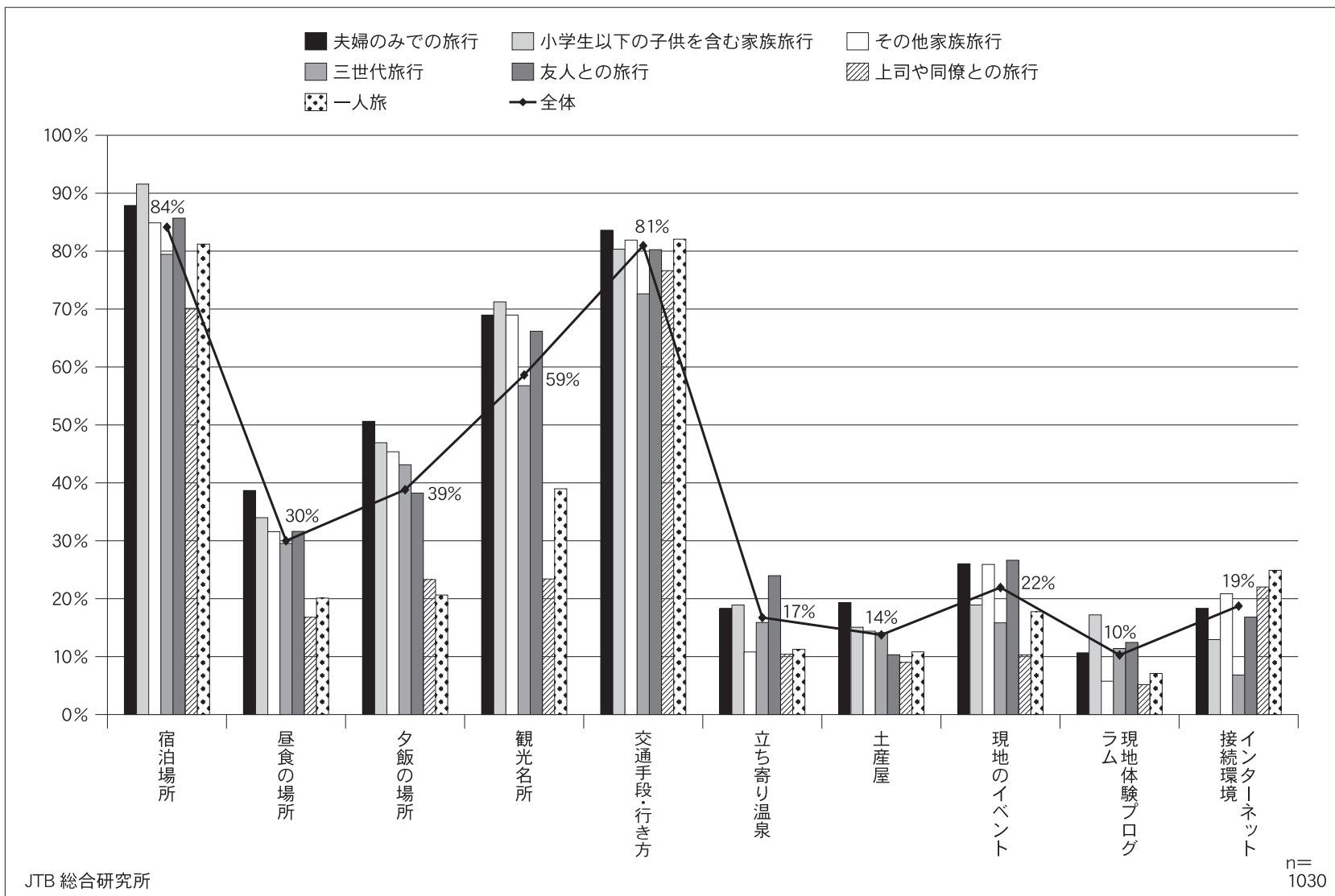
(図1) 出張時における観光への意向



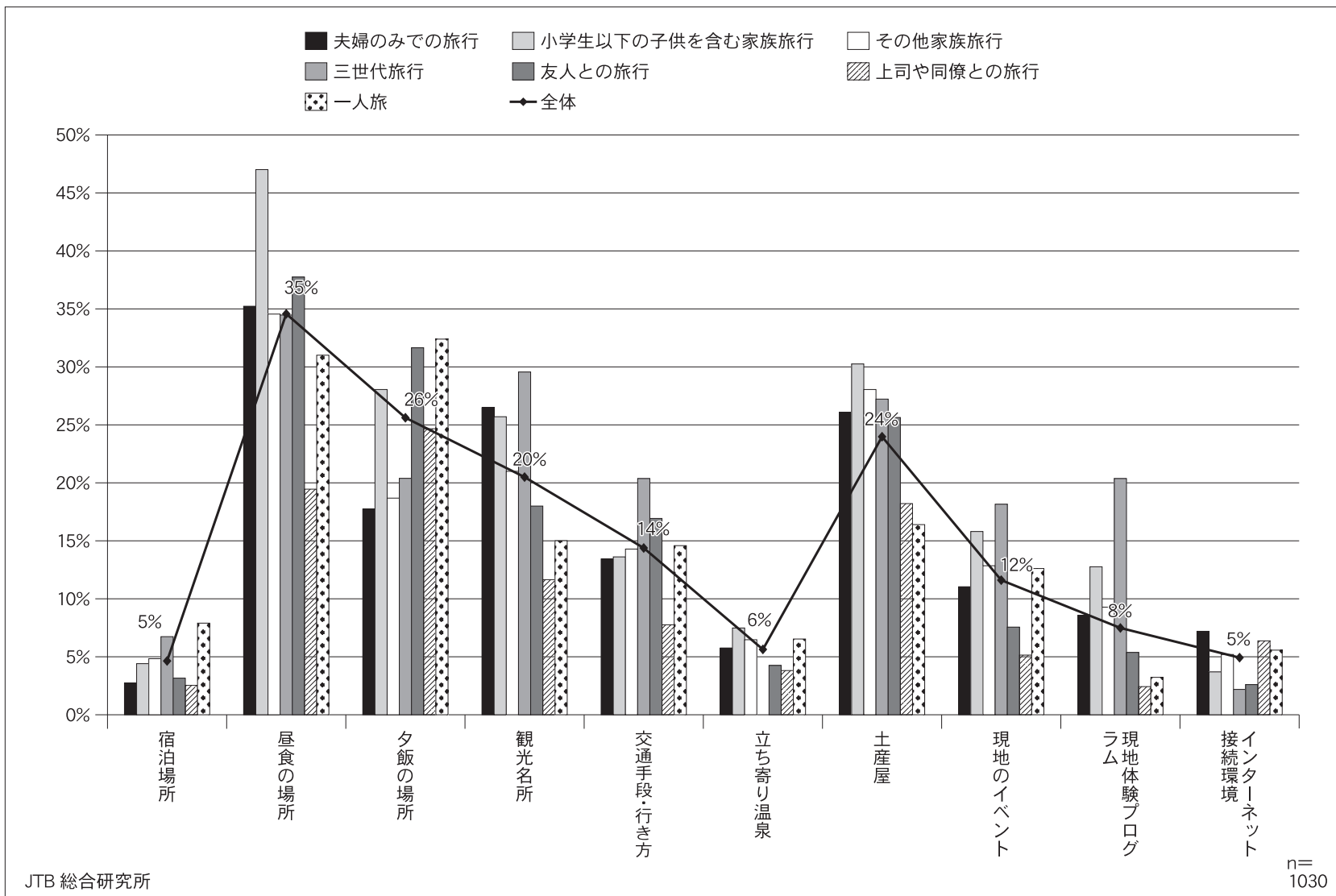
(図3) 出張先での食事に対する考え方



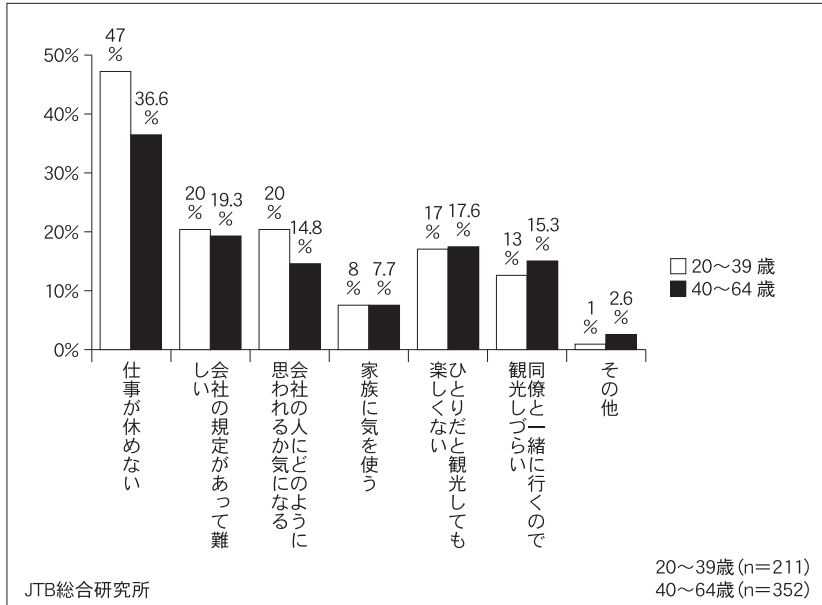
(図8) 旅行前に調べたこと



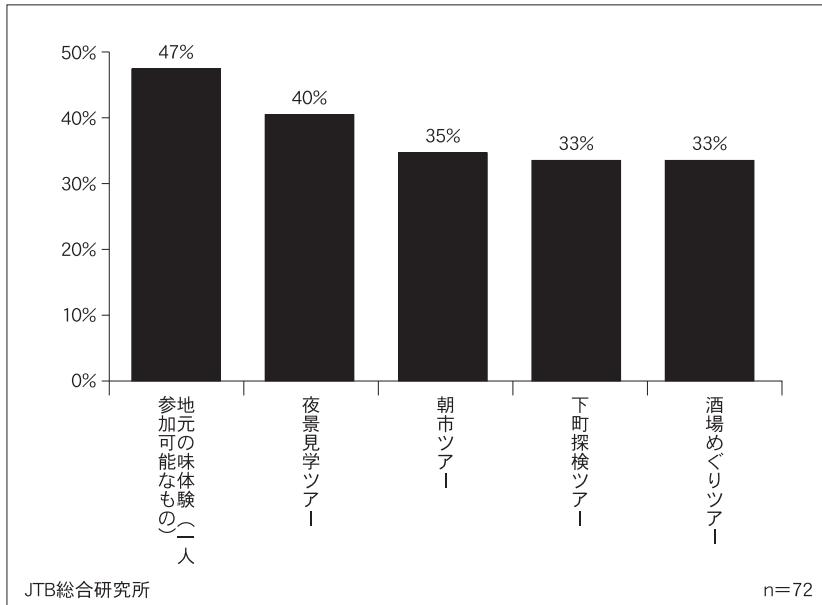
(図9) 旅行先で調べたこと



(図2) 出張に併せて観光することへの問題



(図4) 参加してみたい観光プラン



*図1～図4まではすべて複数回答

JTBは、これまであまり目が向けられていなかった「働く男性」の旅行の実態や意について調査した。その結果、出張先では名産物を食べたという観光したり、もとと地域の魅力を感じたいと考えているという。働く男性は出張旅行でプライベートな旅行でなくとも望んでいるのか。調査の概要を紹介する。

JTBが調査

出張時における観光へ定があって難しい「会社の人かのように思われる人」に気になる「なぜ会社への意識が主で、特若い世代でその割合が若くなった(図2)。

出張前後に観光
「仕事」

これは、名物料理を食べることに興味がない人はほとんどいないものとして、出張先での食事にまつようになった(図2)。

0%と40%64歳の38・2%を上げていた。」「が41・%をしこいて、望んでいけるほど地獄での体験を満喫してゐるわけではなく。出張の前後に観光をするのを阻むのは、「仕手が休めない」「会社の規則がゆるぎない」という点も少なくない。特に、出張の際には観光へあるチェーン店やコンビニで食事を済ませると、人も少なくなる。特

若い男性ではそのような傾向が強かった(図3)。一人でも入りやすい店の情報や一人で気軽に参加できる地元の味体験プログラムなどを提供する中で、地域での食を楽しむ機会を増やせるのではないだろうか(図4)。

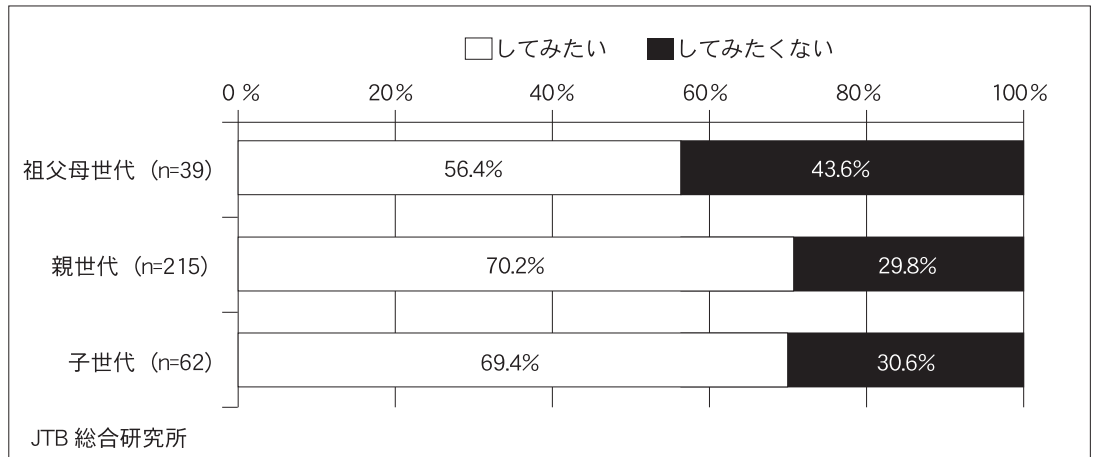
最近、シニアや若い女性の一人旅が目立ってきているが、一人旅への意欲は働く父親世代でも高かった(図5)。好きなように宿泊先や交通手段でできない理由が体めない」

を手配していく自由旅行という(78.8%)としてみた(図6)。という回答からも、仕事や子育ての忙しさを息抜きしたい気持ちが見え隠れする(図6)。

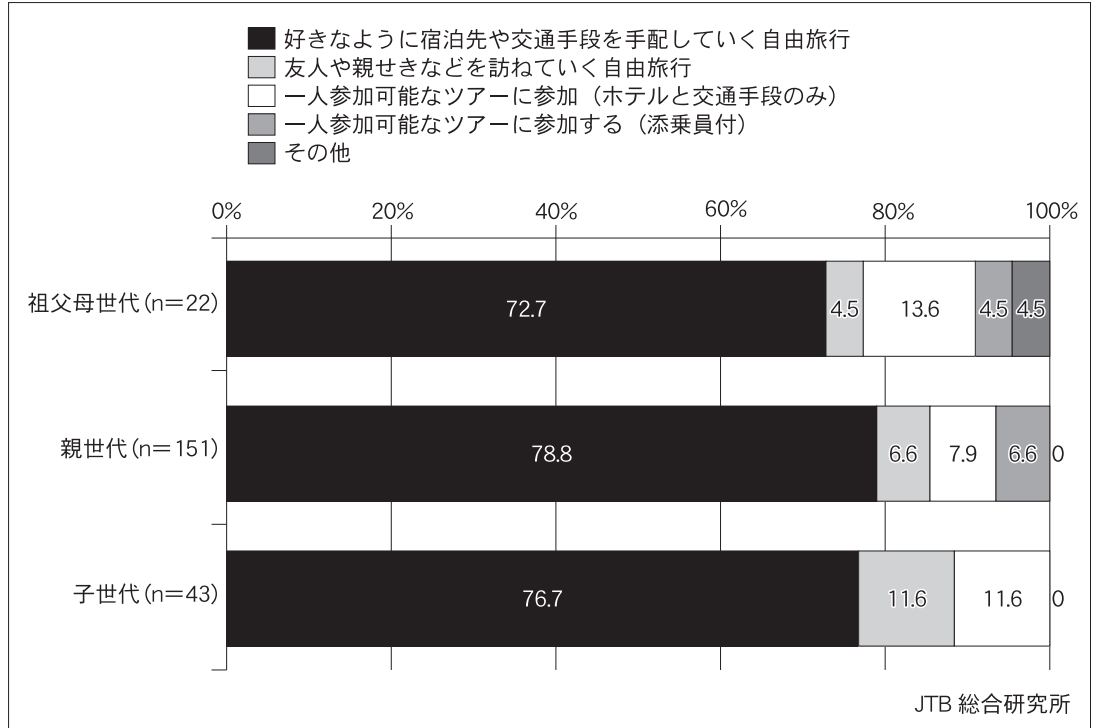
一人旅の不安や問題点は、事故や病気などトラブルの際の対応に荷物の整理や運転が交代でできない。二人でいることによる使いこまわされた場所が限定される「などが挙げられる(図7)。

旅行に関する情報収集手段については、小ざらい提供される旅行前に家族旅行では、旅行前にと宿泊施設や観光について調べる傾向が強い(図8)。一人旅では他の旅行者と比べてインターネットの接続環境を事前に調べる傾向も見られる。旅行先で調べることに違いが見られる。小さい子供連れの旅行では昼食場所や土産の購入場所、友人や同僚との旅行や一人旅では夕食場所、三代代旅行では観光プログラム、現地のイベントなど(図9)。それぞれ、同行者とのときの気分やその場の流れから情報を収集する様子が見え隠れした。

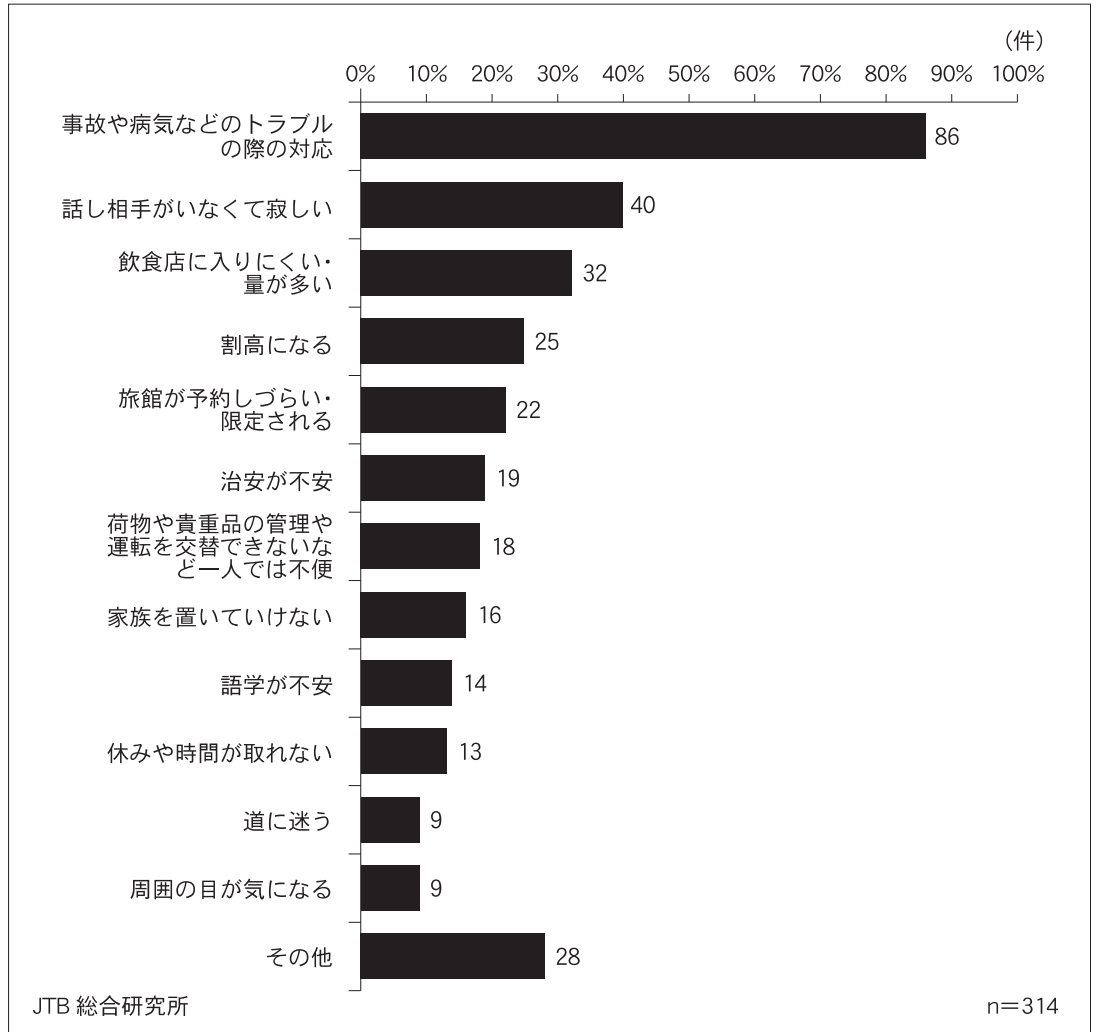
(図5) 一人旅への意向



(図6) 行ってみたい一人旅



(図7) 一人旅の不安



調査概要

方法：インターネットアンケート調査

対象：東京、大阪、名古屋圏に住む、20歳～64歳のフルタイム（週5日以上）で働く男性。過去3年間に1回以上、宿泊を伴う旅行（国内、海外含む）をしたことがある計1030人
期間：2013年10月16～22日